



議会だより な お し ま

2018 No. 185
平成30年10月10日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



直島ケイキのフラダンスショー（直島の火まつり）

- 「移住目的かどうか」が問題(29年度事務報告)…… 2P
- 海底送水管調査が必要(29年度決算)……… 4・5P
- 安定した医師の確保を(2人が一般質問)……… 8P
- 議員定数を減らします(議員発議条例改正)……… 9P
- 釣公園条例改正を否決(臨時議会)………10P
- 「機能別消防団員」の皆さん(がんばりよるで)………12P

が問題

平成29年度 一般会計決算 (歳出) 40億4930万円

平成30年第4回定例会を9月6日から13日までの8日間の会期で開催されました。

平成29年度の事務報告や一般会計・特別会計および簡易水道事業会計の決算について慎重に審議し、全員賛成で認定しました。

また、副町長の選任は反対多数で不同意。議員発議による議員定数の削減については賛成多数で可決しました。

一般質問では2人が町政の考えを質しました。

平成30年度補正予算や、報告3件と議案第1号を除く11議案はすべて全員賛成で可決し、12日に閉会しました。

事務報告 (抜粋)

平成29年度の一般会計は、国・県と同様、厳しい財政状況となりましたが、町の将来を見据え、離島振興法や辺地・過疎債など、有利な地方債の活用に努めました。

また、三菱マテリアル中心の環境産業・環境活動、ベネッセなどの文化活動、水産業などの地場産業の育成・開発など経済基盤の確立をはかり、交流人口増加の鍵となる瀬戸内国際芸術祭の4回目開催に向けた体制強化など「小さい島を大きく美しく実のなる島へ」を目標に、各種事業の推進に努力しました。

主な質疑

全世帯配布のはずでは

Q (石川) タブレット端末が町内1383台出ているが、世帯数はもっと多い。全世帯に配布すると聞いたが。

A (総務課長) 一般の家庭には、ほぼ配布しているが、三菱関係の単身者で必要ない人や、レファアシード等に入所の人には配布していない。

所の人には配布していない。

Q (松島) 以前から旧山本製麺所とN T T間の道路拡幅を要望していたが、積極的な対応を。

A (建設経済課長) 他の交通安全対策を進め遅れたが、来年度も県に要望する。

どうなった移住体験住宅

Q (浜口) 移住体験住宅の実績がほとんどなかった。システムを改善するとの答弁から半年、改善策は。

半年、改善策は。

A (まち観課長) 昨年度は128組が宿泊、内2組が簡易な就職をし、実際に島に住んでいる人もいる。前進はしている。

Q (浜口) 移住目的の利用がどうか問題だ。利用者の意見を聞けないのなら意味がない。アンケートはとったのか。

A (まち観課長) アンケートはとっていない。町は補助し、運営は個人なので、踏み込んで聞けないが検討する。

んで聞けないが検討する。

報酬アップ検討を

Q (西岡) 有害鳥獣対策補助の報酬が少ない。上げる検討を。

A (建設経済課長) 検討したい。

町営住宅建て替えを

Q (小野) 町営住宅の一部が老朽化している。建て替え等対策を。

A (建設経済課長) 計画はあるが予算の都合で実施していない。進めるよう検討する。

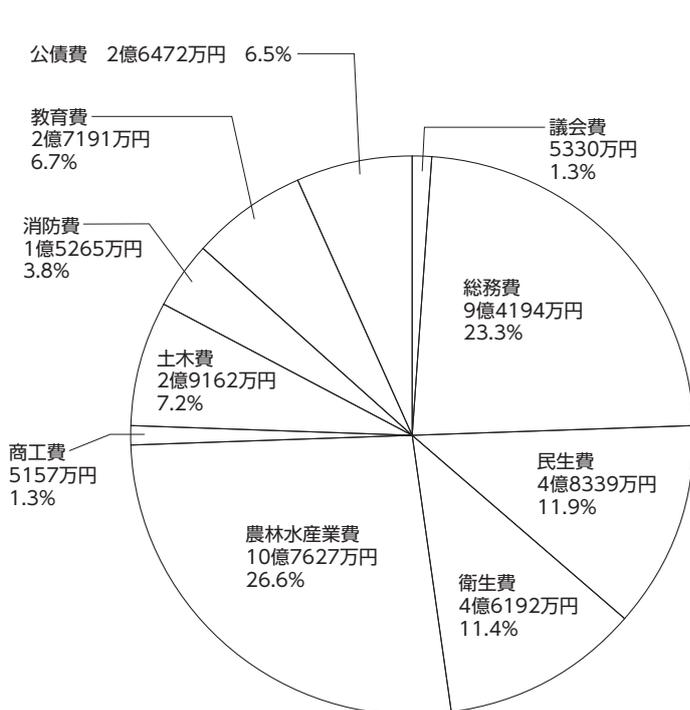
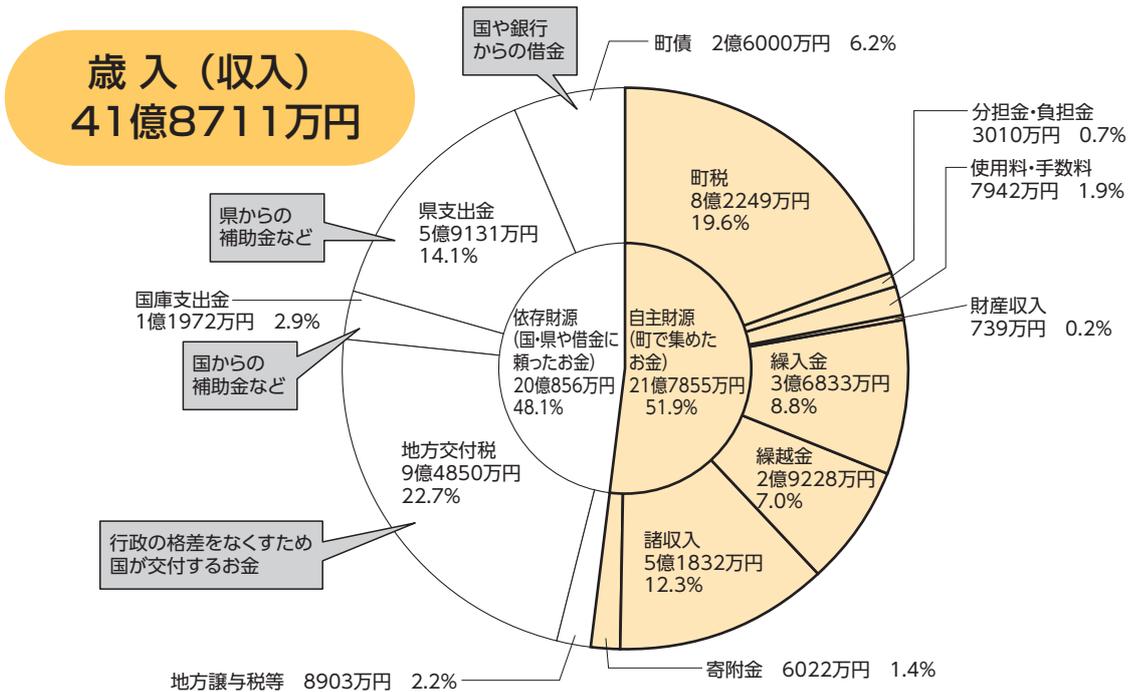
の都合で実施していない。進めるよう検討する。



改善策は？ (移住体験住宅)

移住目的かどうか

平成29年度一般会計歳入歳出構成図



(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります)

歳出（支出） 40億4930万円

こんな事業に使いました

総 ふるさと納税返礼品	2438万円
総 事務事業	1192万円
民 老人福祉給付費	3839万円
民 子ども医療	328万円
衛 本村水路新設	1156万円
衛 火葬場改修	2916万円
農 京ノ山地区治山工事	1280万円
農 積浦漁港高潮対策整備	3980万円
商 つつじ荘改修	663万円
商 直島の火まつり	837万円
土 本村幹線道路舗装	1529万円
土 県営事業負担金	1892万円
消 第5分団屯所更新工事	6631万円
消 救急患者搬送委託料	778万円
教 小・中学校エアコン設置	4804万円
教 町民ランドフェンス取替	119万円

滞納整理に力を

一般会計

〔町営住宅の滞納の内容は〕

Q (山下) 町営住宅の未済額で滞納しているのは何人で、何カ月分なのか。

A (建設経済課長) 2人で半年分だ。

1人は町内にはいないが連絡を取って少しずつ支払っている。もう1人は職を失っていたが現在は少しずつ支払いをしている。

〔役務費に流用した目的は〕

Q (石川) 水産業費の役務費への流用は、どんな使用目的か。

A (建設経済課長) 環境フェスタのハマチフェアの際に、借りたハッピーのクリーニング代だ。

〔事務事業の内容は〕

Q (丸山) 企画費の事務事業の内容は。

A (まち観課長) 社会保障税番号制システム改修・ふるさと納税代行手数料などだ。

〔補修を早く〕

Q (小野) 道路のマシホールまわりに傷みがあるが、早く補修をすべきではないか。



傷みがあり危険なマンホールまわり

A (建設経済課長) 危険な箇所は迅速に対応しており、他の箇所については、秋口にまとめて補修している。

〔エアコン設置工事費の差は〕

Q (丸山) 小・中学校のエアコン設置工事費の大きな差は。

A (建設経済課長) 中学校では電力が不足するため、電力を安定させる装置のキュービ

クルを更新した。

〔石場町へ小型バスを〕

Q (西岡) 小型バスを石場町に運行し

ては。

A (町長) 調査等をし、検討する。



石場町へ小型バスを

討論

賛成 (石川)

税の公平と、滞納整理に力を入れてもらいたい。一般会計の流用が多いと思われるので、十分に気をつけて予算作成を願う。

海底送水管 調査が必要だ



第2海底送水管（陸上部）

簡易水道事業会計

安定した水の確保のために

Q（小野）海底送水管は第2と第3があるが、以前第2送水管を調査した時に、あまりよくない状態であった。それから10数年経っているの
で、調査点検が必要では。

A（環境水道課長）本年度、玉野側と直島側のメーターを、時間を合わせて漏水の点検を行なうことに

している。

Q（小野）データだけの点検で、潜水調査は行なわないのか。

A（環境水道課長）双方のメーターに大きく誤差がなければ、調査は行なわないが、大きな誤差があれば、潜水調査等したい。

Q（小野）安定した水の供給には、潜水調査は必要ではないのか。

A（町長）今回は漏水の点検調査だが、必要と判断した時は、超音波調査や潜水調査等を検討する。

討論

（国民健康保険事業）

賛成（丸山）

国保は滞納がある。平成30年度より県が財政運営の主体になり、税が上がりつつある。医療費の適正化を願う。

（簡易水道事業）

賛成（丸山）

水は必要不可欠なものだ。海底送水管という特殊な受水方法なので、点検整備をして安定した水の供給を願う。

監査報告

税の徴収率は高水準だが、 完納に向け努力を

監査委員 大林 清
同 小野 孝一

平成29年度の一般会計・特別会計・簡易水道会計について審査した結果、会計経理は適正と認めた。

〔主な指摘事項〕

《一般会計》

町の将来を見据えた事業を、限られた財源で最大の効果を発揮するよう、創意と工夫を凝らした行財政運営を望む。

《特別会計》

（国民健康保険事業）

保険税の滞納額を引き続きなくすよう取り組みを強化し、保険税徴収率の向上、保険給付費の減少に努め、医療費の適正化を図り、健全運営に一層の努力を望む。

（診療所事業）

一般会計から多額の繰入金で運営しているため、常に住民から信頼され、親しみのもてる診療所として経営努力するとともに、一層の健全な財政運営に努めるよう望む。

（簡易水道事業）

平成27年から30年にかけて浄水場の耐震化を目的に更新工事を行っている。総事業費が多額の大事業であるが、住民生活に必要な水の安定供給、効率的な経営を推進し、料金の適正化、収入の確保等を抜本的に見直し、一層の経営健全化を望む。



原教育長

学校運営協議会 内容は

(主なもの)

- 6月10日 文化協会芸能大会が開催され、町内から15団体延べ113人、香川町からも6人の特別出演がありました。来場者は301人でした。
- 6月14日 小学校4年生の英語「音の足し算」の授業が実施されました。これは文字と音とをつなぐ学習で、書くことも取り入れた質の高い活動でした。
- 6月18日 総合教育会議が開催されました。主な議題は「幼児学園の教育・保育及び小・中学校の教育」でした。
- 8月3日 わんぱく寺子屋が開催され、竹箸・竹コップ作り、炊飯体験、流しそうめんなどで楽しく活動を行いました。



なんに乗っとんかな？(わんぱく寺子屋)

主な質疑

Q (小野) 学校運営協議会制度の内容は。
A (教育長) 現在は学校に対して意見等をする機関に学校評議員会がある。これを更に進めて地

Q (丸山) 教科用図書選択は何社ぐらいから選ぶのか。
A (教育長) 今回の中学校の道徳は8

Q (井下) 小学校4年生の研究授業に2人の大学准教授が視察に来ているが、その経緯は。
A (教育長) 当町から発信ではなく、先方が情報を掴んで来たものだ。

ジェットスキーに 規制を



小林町長

(主なもの)

- 6月16・17日 直島出合いイベントをつつじ荘他で開催しました。男性19人、女性16人の参加があり3組のベスト1カップルが誕生しました。
- 7月5～8日 7月豪雨で水防本部を設置し警戒にあたりました。土砂災害警戒情報が発表されたため、避難勧告を発令し、避難所を開設しました。
- 7月6日 宮ノ浦地区地震・津波対策に係る地元説明会を開催しました。
- 8月3～6日 掃海艇「なおしま」が寄港し、歓迎セレモニー、一般公開などのイベントが行われました。
- 8月4日 直島夏まつりが町民グラウンドで開催されました。



危ないぞ！ ジェットスキー

主な質疑

Q (井下) 海水浴場にたくさんジェットスキーが来て子どもたちが危険だ。規制をしているのか。
A (町長) 規制は非常に難しい。琴反地はロープを張っ

Q (山下) 横防でも泳いでいる。浅瀬だけでもロープを張れないか。
A (町長) 検討するが、確約はできない。

Q (小野) 四国汽船の会長と社長が来ているが、どのような話があったのか。
A (町長) 新高速船の運賃は、従来どおり高校生は定期券で乗船でき、フェリーの切符などを持っている人は差額を払えば乗船できる。

委員会レポート

7月13日、8月16・17日の3日間合同委員会を開催し、議会閉会中の継続調査案件や各課からの現状・事業等の報告を受け、議論を交わしました。
主なもののみ報告します。



石川 委員長

総務・文教

〔総務課〕

被害状況は

○7月5～8日 7月豪雨の警戒対応を実施。住宅の全壊1件、一部損壊5件、公共土木施設等約10件でした。

大盛況の一般公開

○8月3～6日 掃海艇「なおしま」が寄港。4・5日の一般公開は大盛況でした。
〔まちづくり観光課〕

「ソラシオ」製造工場を更新

○6月20日 観光協会の総会が開催され、4人の理事が変更になり、工場を11月～2月の予定で更新する予定です。

出合い隊を開催

○6月16・17日 第28回「島コン2018」を開催。ベスト1カップル3組、ベスト3以内カップル3組が誕生しました。

〔教育委員会〕

盛大に芸能大会

○6月10日 文化協会の芸能大会が開催され、出演者113人、来場者は301人でした。

海岸清掃を実施

○7月14日 子ども会が清掃活動をごみ0クリーンデーと同時に実施。子ども101人、父兄など55人が参加しました。

好評だった寺子屋

○8月3日 わんぱく寺子屋を実施。子ども75人、指導者など24人が参加して、竹細工や流しそうめんなどで楽しみました。

給食費の改定

○来年4月から幼児学園、小・中学校の給食費を改定の予定で、1～3月中に保護者に対する内容を周知する予定であると報告がありました。

経済・民生



小野 委員長

〔ふれあい診療所〕

(平成30年4月～7月)
○外来患者 4824人
○入院患者 789人
○時間外救急患者 178人
○泌尿器科外来患者 103人

うれしい対応

委員から、診察が終わりバスで帰る時に外で待つのは暑いので、診療所の受付の方が「バスが来るまで待合室にいて下さい。バスが来たからお知らせします。」と親切に対応してくれてとてもありがたいとの報告がありました。

〔住民福祉課〕

○6月20日 戦没者追悼式
○8月3日 在宅見舞金の配布

名称を変えては

Q 高齢者スポーツ大会の「高齢者」ということばに、よい印象がしない人もいます。名称の変更を考へては。

A 名称を変えることでイメージが変わればよいとは思いますが、そのあたりも工夫して実施したい。

〔建設経済課〕

○6月24日 直島コメづくりプロジェクト「田植え」が開催された。

○7月6日 宮ノ浦地区地震津波対策に係る説明会

お金がかかる

Q イノシシのわなを仕掛けている方から、色々とお金がかかる。もう少し報酬を増やしてほしいと聞いたが。

A 検討はする。

〔環境水道課〕

○7月14日 ごみ0クリーンデー町内一斉清掃

開始時間・時期の変更は

Q ごみ0クリーンデーの開始は8時だが、もう少し時間を早くできないか。また、もっと気候のいい時期にできないか。

A 自治会の方と協議して検討したい。



ごみ0クリーンデー（横防海岸）

一般質問

町長に問う



山下 議員



西岡 議員

(質問者の責任において作成しています)

安定した医師の確保を

〔町長〕重要な課題で努力する

現在、県から2人の医師が派遣されているが、近い将来、2人の医師の派遣が1人になる可能性も考えられる。

診療所は医師の2人体制が不可欠であり、急を要する時間外診療など、さまざまな状況に対応を考慮すべきではないか。町独自で医師を確保す

る必要があり、町民や移住を考えている方も含めて、安心な医療を提供することが町の責務だ。厚生労働省が行なっている「へき地医療支援機構」に医師の依頼や、離島への医師求人サイトを活用したり、いろいろな方法で医師の確保を考えてはどうか。

療体制をとっている。町として各方面に相談等をしたが、どの医療機関も大病院等からの医師派遣には、苦慮している。

〔町長〕当町では、住民の安全・安心のために医師2人による365日24時間体制で救急患者等に対応できる医療体制をとっている。

昨年秋より、月刊「地域医療」という雑誌に、診療所での医師募集の掲載を行ない、医師の確保対策に努めている。町としても非常に重要な課題であり、今後も医師の確保を、さまざまな角度から調査・研究を行ない、議会と相談また協議しながら、医師の確保に努力していく。

犬にも避妊・去勢手術費補助を

〔町長〕飼い主の責任において実施を

現在、町では猫の手術費が補助されている。しかし、近隣のほとんどの自治体では犬猫一律1頭につき3〜5千円が補助されている。将来的に野良犬を発生させないため、また新しく家族に

犬を迎える方や今後手術を施す方の負担軽減のために、犬にも補助をすべきではないか。

〔町長〕町が猫の補助を実施した理由は野良猫が多く、数も増加傾向にあると多数苦

情がきたこと、餌やりをしている少数の住民が手術に連れて行ける可能性があること、また役場に仔猫が持ち込まれ、引き取り手もなく保健所に送っていること等、これ以上野良猫の増加を防ぐ

ために実施したもの。犬に対する苦情のほとんどはフンの未処理であり、現状では補助の必要性はないと考える。

〔町長〕現在野良犬がいない状況だが実際に仔犬が放置されたことがあり、今後ないとも限らない。犬にも補助があれば犬の飼い方の認識も変わるのではないかと考えている。

〔町長〕犬については散歩時も繋ぐのが原則である。将来的に野良犬が増える状況になれば、その時点で考えたい。



野良犬を発生させないために…

当診療所は、世界的に有名な芸術とアートと環境の町である瀬戸内海に浮かぶ直島にあります。当院では、24時間365日の救急患者の受け入れ対応、在宅医療、看取りなど幅広い分野で活躍ができます。救急業務では、ドクターヘリなどとの連携の中で実施しております。高齢化率も35%超の町ですが、人情あふれるこの直島での離島医療のため情熱ある医師の方を心よりお待ちしております。

医師募集広告の内容

議員定数を1減らします

町議会議員定数条例の一部改正

常任委員会で、長きにわたり議員定数について議論を続けてきました。
減ずることによるメリット・デメリット等、各議員の考え方や意見をたたかわせてまいりましたが、当町の実態に照らし合わせ、9人が適当であると判断し、賛成多数で改正することに決定しました。



横防がけ崩れ現場

人事

5月より空席となっている副町長選任の同意を求められ、採決の結果反対多数で不同意となりました。

専決処分

7月豪雨により町内各所に土砂崩れが発生し、土砂の撤去等を緊急に行なう必要があるため、災害復旧費に1815万円を追加する専決処分を全員賛成で承認しました。



被害があった本村の道路

平成30年度 予算補正

一般会計

- 7月豪雨に対する予算の専決処分により、緊急に土砂撤去等を実施した災害箇所の本格的対策工事を進めるための設計や工事請負費等に4900万円を追加し、予算総額は39億3458万円となりました。
- 歳入
 - 国庫負担金 230万円追加
 - 歳入 2411万円追加
- 歳出の主なもの
 - 県補助金 863万円追加
 - 繰越金 732万円追加
 - 繰越金 3075万円追加
 - 流出の主なもの
 - 流し地区治山工事 1132万円追加
 - 災害関連地域防災がけ崩れ対策工事(横防地区) 2411万円追加
 - 宮ノ浦地区地震津波対策設計委託 505万円追加

- 繰越金 1815万円追加
- 歳入

- 歳出
- 災害復旧費 1815万円追加

平成30年第3回臨時議会が7月13日に開催されました。

釣公園条例改正を否決

釣公園設置及び管理条例の一部改正

つり公園は赤字経営であり、多額の繰入金で運営されてきた。民間委託等、いろいろ議論されてきたが、良い方法が見つからなかった。執行部より常任委員会の中で、平成30年4月より夜釣り・釣堀等を廃止し、1・2

するのには町民に対してどのような気持ちなのかが。

A (建設経済課長) 組織の方針が変わり、それに従って最善の仕事をしなればと考えている。内容については、全面再開でなく、条例の中で再開できるようにしておきたいのをお願いしたい。

Q (井下) つり公園は廃止、存続、民間委託等、長年議論されてきた。今年の3月に苦渋の選択をし、現在に至っている。3・4カ月しかたっていないのに、なぜ改正を急ぐのか。また、町長就任の所信表明で、町と議会は車の両輪と表明された。しかし、この件に関して、議員が反対意見を持っていることをお話ししたところ、聞いてもらえなかった。車の両輪に矛盾があると考

A (町長) すでに鯛は500匹入っている。現在62匹しかでしておらず、このままでは多くの鯛が残るので、少しでも減らすため釣堀を再開したい。また、夜釣りも再開して少しでもお客さんを呼び込みたい。決して議会を無視しているのではなく、つり公園を良くしたい思いがある。急に再開しないと、どうにもならなくなってしまう。このような結果になった。

Q (浜口) 1・2年様子を見て民間委託や採算のとれる運営の仕方を考えて、前へ前へと行動することを期待するが。

A (町長) 今やらないと1・2年待つと釣り客が逃げてしまう危険がある。ダイレクトメール等で、釣れた魚のお知らせをするなど、つり公園を良くしていったら、お客さんが増える努力を是非やっていきたい。

Q (西岡) つり公園は赤字つづきであり、4月1日より縮小が始まった。1・2年は様子を見て今後のことを考えようという話だったが、3カ月程でまた再開

夜釣り・釣堀の再開に多くの質問

以下、主な質疑を抜粋して掲載します。

えるが。



陸からの釣りはできます

以上、多くの質疑を行った後、採決の結果全員反対で否決しました。

反対(浜口)

討論



釣堀は利用できません



造成工事が始まった積浦地区

文教区集会所整備工事 請負契約

老朽化が激しく危険なため、第5分団屯所跡地に集会所を建築する工事

● 契約方法

指名競争入札

● 契約金額

6912万円

● 契約の相手方

(有)建築工房おおよま

● 工期

町指定日から平成31年2月28日

積浦地区宅地造成工事 請負契約

● 契約方法

指名競争入札

● 契約金額

5724万円

● 契約の相手方

(株)多丸組

● 工期

町指定日から平成30年10月31日

追跡

あれ、どんなつとん!

このコーナーは、議員が以前、一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

海底送水管は大丈夫か!!

水はなくてはならないものだ。前回の調査から数年たっている。調査が必要ではないか。

(平成29年3月定例会 小野議員)

答弁

第2送水管は調査が必要だ。

第3送水管はコンサル等と相談する。(濱中前町長)

経過

今年度、玉野市側と直島町側でメーター指数の読み合わせをして漏れの調査をする。

誤差がなければそのまま、大きな誤差が出れば潜水もしくは超音波で調査したい。

(平成30年9月定例会 環境水道課長)

今回は漏れがあるかないかで進める。必要があればどの方法が良いか検討したい。

(平成30年9月定例会 小林町長)

機能別消防団員の皆さん

がんばりよるで



山本 敬二さん



岡本 伸吾さん



小林 浩二さん



小林 恭助さん



田中二三夫さん



下津 誠治さん



新宮 正三さん

若手指導に力が入ります

今回ご登場いただくのは、元消防団員で定年された後、再度団員として活躍されている『機能別消防団員』新宮正三さん、下津誠治さん、田中二三夫さん、小林恭助さん、小林浩二さん、岡本伸吾さん、山本敬二さんの皆さんです。

Q まず皆さん年齢は。
新宮 69歳です。
下津 66歳です。
田中 67歳です。
小林恭 65歳です。
小林浩 63歳です。
岡本 60歳です。
山本 64歳です。
Q 消防団員の他に何か仕事をされていますか。
新 町の救急艇に月の半分乗っています。
下 私は再雇用で製錬所へ行っています。

小恭 僕は毎朝新聞配達をしております。
Q 皆さんそれぞれがんばりよりますね。なぜ再度消防団に入団されましたか。
田 定年後も体は十分動かし、町と地元消防団に協力したいと思ったからです。
新 私も同じ理由です。(全員「同感」の声あり)
Q 大変ありがたいことですね。他に理由や入団して良かったことはありますか。
小浩 屯所などで若い団員と話していると楽しいし、指導にも力が入ります。

田 各分団、住民の安全・安心のため力を合わせがらばってほしい。我々も協力します。(全員「同感」の声あり)
新 台風や火事など災害に備え、常日頃の訓練や点検を忘れないよう、がんばってください。
田 今日はお忙しいところご協力ありがとうございます。これからも健康で、地域の安全と後輩指導にご活躍をお願いいたします。



夏季訓練等にも参加します

編集後記

異常な暑さもひと段落。陽が傾く頃にはトンボの群れに遭遇するようになりました。散歩時に見かける畑も夏野菜から秋野菜に変わります。季節の移ろいを感じます。毛皮を持つ動物たちも生え変わりで季節を感じさせてくれましたが、最近では室内飼いが一般的になり季節感がなく、メリハリも少なくなってきました。四季の変化を感じながら旬のものをいただいで島時間を楽しむ……最高の暮らしですね。
 (山下記)

議会広報編集特別委員会

- 議長 蓬 清二
 委員長 丸山 義朗
 副委員長 石川 知久
 委員 西岡裕喜広
 濱口 敏夫
 小野 孝一
 山下 玲子
 井下 良雄